

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長のほっぺ コラム

市長 佐竹敬久



暑い夏

今年の夏の状態を、猛暑より上に
フックされる酷暑というのでしょうか。
首都圏などでは気温が四〇度近く
まで上昇し、秋田でも三五度を超え
る日が続き、いささかバテ気味のか
たも多いのではないかと思います。

一方、北陸や四国などでは記録的
な集中豪雨による大きな被害があり、
酷暑の中で復興作業を余儀なくされ
る皆さんには同情を禁じ得ません。

さて、今年の本市の夏は多くのイ
ベントが目白押しでした。

七月十六日には、市民交流の新拠
点となる秋田駅東口の「アルヴェ」
のオープニングを多数の市民参加に
より行うことができました。

引き続き三十一日には、千秋公園
において県内のさまざまな祭りや郷
土芸能をお招きして建都四百年記念
式典の前夜祭を催したところ、まさ
に押すな押すなの人出で、千秋公園
開園以来といわれる七万人余の入園
者を記録しました。

翌八月一日にはアルヴェでの本番
の式典、二日にはドイツ・パッサウ
市との姉妹都市提携二十周年記念式



海外のお客様たちも`暑い、秋田に大満足！

典、そしていよいよ三日からは竿燈
まつりへと続きました。

特に今回は、姉妹・友好交流都市
のドイツ・パッサウ市からアルベル
ト・ツァンケル市長と六十名余の市
民並びにスポーツ交流団が、アメリ
カ・アラスカのキナイ半島群からデ
ール・パークレイ代表市長一行が、
そして中国蘭州市からは哈全玉常務
副市長一行がおいでになりました。

国内では、姉妹都市の常陸太田市
渡辺龍一市長と佐竹小学校などの四
十名余の皆さん、それに有縁町村の

金砂郷町、水府村、里美村、大子町
の町村長一行の参加をいただきました。
た。

海外からのお客様は、想像以上の
暑さにビックリした様子でしたが、
いずれも前夜祭から竿燈まで四日間
の全日程に参加していただいたほか、
市内各所や男鹿、角館、田沢湖など
を見学し秋田を堪能していただいた
ものと思っております。

大規模イベントの実行や海外から
の多数のお客様の受け入れには、費
用よりもむしろ多方面にわたる大き
な人的エネルギーが必要で、市役所
をあげて取り組みましたが、市職員
の働きだけでは真に感激していただ
けるものにはなり得ません。

建都四百年サポーター、姉妹都市
フォーラム会員、文化・スポーツ団体、
日独協会、蘭州会などの皆さんはも
とより、さまざまな場に参加・参集し
てくださった数多くの市民の皆さん
によって、たとえ言葉が通じなくとも、
酷暑に負けないほどの秋田市民
の熱い心意気を大いに示していただ
いたことに、心から感謝します。



管理運営委員会のみなさんと、コミセンに来た子どもたち



ユニカールに挑戦！



体育館ではバレーサークルが活動中！

★郷土で協働②



「地域の図書館」大町文庫を引き継いだのも特徴。夏休みは、子どもたちでにぎわっています

旭北コミセン管理運営委員会 笑顔生まれる 地域の“お休み処”に

今年の四月、秋田市大町にオープンした市内で十七館目の「旭北地区コミュニティセンター」。

これまでとは運営方法が根本から違う、より地域密着型の新しいコミセンです。

地域の人が運営

今まで、秋田市にあるコミュニティセンターは、すべて市が管理・運営していました。でも、市民協働元年の今年四月に開館した旭北地区コミセンは、その管理・運営をすべて、地域の実情をよく知る地元のみなさんに行ってもらっています。

管理・運営に携わっているのは、町内会や各種団体などの関係者二十七人で構成された「旭北コミセン管理運営委員会」のみなさん。

会長の中谷久之助さんは、「最初は施設の利用者も少なく、どうなるかと心配しましたが、今は毎日たくさんの方々があつてホッとしています。よくここのコミセンで練習する秋田南中学校の新体操部が、全県大会で優勝したときはうれしかったですね」と、四月からのあわただしくも充実した日々を笑顔で振り返ります。

利用者の協力が大事

利用者が増えると、当然、心配事も増えてきます。「サークルなどの予約が急にキャンセルになったときの

対応や、駐車場が狭いので利用者同士のトラブルにならないよう配慮することなど、管理の難しさも感じています」と中谷さん。

上手な管理のコツは、「常に利用者とのコミュニケーションをはかること」と、委員会のみなさんはいつも感じています。利用者の協力がなければ、みんなが気持ちよく利用できるコミセンは成り立たないですね。

広がれ！住民の輪

旭北コミセンのもう一つの特徴は、周りを高層マンションに囲まれていることです。

中谷さんは、「マンションに住むみなさんも地域住民の一員です。向三軒両隣をマンションに囲まれたこのコミセンを、地域のお休み処として、マンションのみなさんにもどんどん利用してもらいたい」と話します。

「ここを拠点に住民の輪を広げたい」という願いを込めて、管理運営委員会ではさまざまなイベントも企画しています。九月十八日・十九日には、外町の総鎮守「日吉八幡神社」の秋祭りに合わせて、コミセンまつりを開催する予定です。地域の特色をいかした楽しい催しを計画なので、みなさんお楽しみに！

市民協働型コミセン第一号としてデビューして四か月。「旭北コミセン」は、笑顔生まれる地域のお休み処として着実に成長しているようです。